

平成20年2月13日

株式会社ホテル京阪  
京阪電気鉄道株式会社  
総合商事株式会社

～大阪の活力はユニバーサル・シティから～

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン オフィシャルホテル

## 「ホテル京阪 ユニバーサル・タワー™」が誕生します

京阪グループの株式会社ホテル京阪（本社：大阪府中央区、社長：西谷 徹）と総合商事株式会社（本社：東京都新宿区、社長：村井 敬）では、現在「ホテル日航ベイサイド大阪」として営業中の総合商事株式会社保有施設について「ホテル京阪 ユニバーサル・タワー」として運営することを合意しました。

同施設は、年間869万8千人（平成18年度実績）が訪れる日本を代表するテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の玄関口、JR桜島線ユニバーサルシティ駅前に位置し、ホテル立地としては申し分ない条件を備えています。加えて、ハード面においても地上138m、33階建て、641室と、すべてにおいて「ユニバーサル・シティ」内最大規模を誇るほか、250人規模の宴会が可能なバンケットルーム、天然温泉による展望大浴場などを備え、ゲストのあらゆるシーンに対応可能なハイグレードな施設であることから、株式会社ホテル京阪では、高い収益性が見込めると判断しました。

さらに、京阪グループと総合商事株式会社では、本年3月末の「ホテル日航ベイサイド大阪」退店後、同エリアでの営業ノウハウを持つ「ホテル京阪」が迅速に営業を引き継ぎ、空白期間を可能な限り短縮することが、平成13年の開園以降、観光需要の創造を核に、常に大阪の活力を牽引してきた「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」へのビジター確保につながり、大阪の活性化に貢献できるものと考え、今回の合意に至りました。

また、京阪グループでは、経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」で、京阪ブランドが影響力を行使できるエリアの拡大を謳うとともに、ホテル事業を拡大強化事業と位置づけ、多店舗化戦略を図っています。エリア拡大においては、本年秋に鉄道新線が開通する中之島を最重点強化エリアとするとともに、その延長線上に位置するベイエリアを中心とした大阪市西部地域も準沿線とみなしており、ユニバーサル・シ

ティへの新店進出は同エリアにおける京阪グループの存在感向上に大きく寄与するものと考えています。

今回の出店により、ユニバーサル・シティにおける「ホテル京阪」の客室総数は、従来営業を行っている「ホテル京阪 ユニバーサル・シティ」と合わせて971室となり、同エリアの約半分のシェアを占める地域一番店となります。また、近畿全域を見ても屈指の規模になることからシナジー効果が見込め、効率的な運営が可能になるものと考えています。さらに、新店は「ホテル京阪 ユニバーサル・シティ」同様、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン オフィシャルホテルとして営業を行うことが内定しており、その圧倒的な知名度、集客力との相乗効果も期待できます。株式会社ホテル京阪では、これらの強みを生かし、施設が持つポテンシャルを最大限に発揮しながら、良質なサービスを提供していくことにしています。

なお、京阪グループでは、琵琶湖観光のメッカである大津港隣接地において滋賀県の迎賓館「琵琶湖ホテル」を運営する株式会社琵琶湖ホテルの株式を約69%保有している他、本年1月には「京都タワー」を運営する京都タワー株式会社の株式を、約91%の保有率まで買い増しました。今回の「ホテル京阪 ユニバーサル・タワー」進出により、大津、京都、大阪の観光拠点に、それぞれシンボリックなホテル施設を保有することができ、広域からお越しになるお客さまが、京阪ブランドに親しんでいたきやすい環境を整えました。これを機に、京阪グループでは京阪ブランドのナショナルブランド化に本格的に取り組むことにしています。その軸になるのがホテル京阪の「全国チェーンホテル」化で、既に発表のとおり、平成21年春に「(仮称)ホテル京阪札幌」のオープンを予定しているのをはじめ、現在首都圏を中心とした主要政令指定都市への出店を計画中で、早期の10店舗・総客室数3,000室体制達成、グループビジョン最終年度の平成32年度には店舗数20~30店舗、総客室数5,000室の体制を目指します。

京阪グループでは、ビジョン実現に向けて、今後も業容拡大に努めていきます。

新ホテルの概要は別紙のとおりです。

(別紙)

1. ホテル名称 : ホテル京阪 ユニバーサル・タワー™
2. 所在地 : 大阪市此花区島屋6丁目426番地、425番地  
(JR桜島線 ユニバーサルシティ駅前)
3. 開業時期 : 平成20年5月(予定)
4. 運営会社 : 株式会社ホテル京阪
5. 建物所有 : 総合商事株式会社
6. コンセプト : ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのゲートに直結する  
地域最大のオフィシャルホテル。  
良質なサービス提供を目指した「アーバンリゾートホテル」として、ファミリーやカップルのお客様を中心に、  
グループ、教育旅行のお客様に対応します。
7. 主要顧客 : ファミリーやカップルのお客様を中心に、グループ、  
教育旅行の団体客
8. 規模 : 鉄骨造陸屋根33階建て
9. 延床面積 : 約47,400㎡
10. 客室数 : 641室
11. 付帯施設 : 大浴場(男女各1箇所)
12. 年間稼働率予想 : 約70%
13. 年間売上予想 : 約40億円
14. 株式会社ホテル京阪の概要
  - 本社所在地 : 大阪市中央区谷町1丁目2番10号
  - 取締役社長 : 西谷 徹(京阪電気鉄道株式会社 常務執行役員  
レジャー・サービス業統括責任者)
  - 株 主 : 京阪電気鉄道株式会社・京阪バス株式会社  
(京阪グループ100%)

- 施設の概要
- ・ホテル京阪天満橋（大阪市中央区 317室）
  - ・ホテル京阪京橋（大阪市都島区 214室）
  - ・ホテル京阪京都（京都市南区 286室）
  - ・ホテル京阪 ユニバーサル・シティ  
（大阪市此花区 330室）
  - ・ロテル・ド・比叡（京都市左京区 29室）
  - ・大山レークホテル（鳥取県西伯郡 47室）

- 会社の沿革
- 昭和52年 9月 株式会社ホテル京阪設立
  - 昭和54年 3月 ホテル京阪 大阪 開業
  - 昭和59年 3月 ホテル京阪 京都 開業
  - 平成 2年 3月 ホテル京阪 京橋 開業
  - 平成 9年 7月 大山レークホテル 改築
  - 平成11年 5月 ロテル・ド・比叡 開業
  - 平成11年10月 株式会社ホテル京阪、株式会社ホテル京阪京都、株式会社大山レークホテル、株式会社近江舞子ホテルのホテル4社合併。ホテル京阪「大阪」をホテル京阪「天満橋」に屋号変更
  - 平成13年 7月 ホテル京阪 ユニバーサル・シティ開業
  - 平成16年 4月 株式会社ロテル・ド・比叡を合併
  - 平成18年 9月 近江舞子ホテル休業 現在6ホテル
  - 平成20年 5月 ホテル京阪 ユニバーサル・タワー開業予定
  - 平成21年 春（仮称）ホテル京阪札幌 開業予定

#### 15. 京阪グループのその他のホテル

京都タワー株式会社（本社：京都市下京区、社長：有木一）

- ・ 京都タワーホテル（162室）
- ・ 京都タワーホテルアネックス（122室）
- ・ 京都第2タワーホテル（303室）

株式会社琵琶湖ホテル（本社：大津市、社長：小田修）

- ・ 琵琶湖ホテル（171室）



- ホテル京阪 ユニバーサル・タワー 外観 -



- ホテル京阪 ユニバーサル・タワー ロビー -

以上